

会議録（概要）

- 会議の名称** 令和元年度 第1回 富田林市障がい者施策推進協議会
- 開催日時** 令和元年11月13日（水曜日） 14時～15時20分
- 開催場所** 富田林市役所 3階 庁議室
- 出席委員** 的場 政一（会長）、端山 弘明（副会長）、南齋 哲平、宋 連玉、山崎 修平、
吉海 弘幸、泉尾 正彦、中安 公則、飯田 昭夫、宮崎 幸美、佐野 朋慶、阪口 勉
14名中12名出席
- 事務局** 吉村市長、西野子育て福祉部長、梅川課長、北浦課長代理、松山係長、仲谷係長
梶本係長
- 公開の可否** 公開
- 傍聴者数** 0名
- 会議次第**
1. 会長・副会長の選出について
 2. 案件1) 平成30年度富田林市障がい者計画実績報告について
資料1 第4次 富田林市障がい者計画実績報告書（平成30年度分）
案件2) 平成30年度富田林市障がい福祉計画実績報告について
資料2 第5期 富田林市障がい福祉計画・
第1期 富田林市障がい児福祉計画実績報告書（平成30年度分）
案件3) 次期障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定について
資料3 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
の策定スケジュール案
資料4 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
策定のためのアンケート調査票（案）
 3. その他

議事録

事務局 司会

《委嘱状交付》

※吉村市長より、出席委員に委嘱状を交付。

《市長あいさつ》

市長 皆様こんにちは。

富田林市長の吉村善美でございます。

令和元年度第1回富田林市障がい者施策推進協議会の開会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

委員の皆様方におかれましては、ご多忙のところ、本協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、委員のご就任につきまして、快くお引き受けいただきまし

たこと、この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げる次第でございます。
本協議会は本市における、障がい者に関する施策の総合的かつ計画的な推進につきまして、必要な事項等を審議していただく、重要な、非常に大事な組織であります。皆様方の多大なるご協力のほどよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

さて、昨年3月に、「第4次富田林市障がい者計画」、「第5期富田林市障がい福祉計画・第1期富田林市障がい児福祉計画」を、本協議会の慎重なご審議をいただきまして、策定したところでございます。

昨今、ユニバーサルデザインの導入、或いは福祉の増進等が課題になっております。非常に大事な問題になっていると思ひます。

話は変わりますが障がい者スポーツで、本市出身の花岡伸和という選手がいます。今回の2020年の東京パラリンピックの陸上競技連盟の副理事長をやっておりますが、そういう彼との縁もありまして、本市では、特に障がい者スポーツ、障がい者福祉に力を入れていかなければならないというふうに思っているところでありまして、来年、2020年はオリンピック・パラリンピックもそうですけれども、富田林市にとりまして、市制施行70年という大きな節目の年になりますので、その時にどんなふうに、子どもたち、そして市民の方々に、この富田林について、知っていただくのか、夢を持っていただくのか、住んでよかったまちにしていくのかという節目の年にしたいというふうに思っておりますので、幅広い形で市民の皆様にご協力いただき進めていきたいというふうに思っているところでございます。

さて、この「障がい者計画」は、9年間の長期計画で、市の障がい福祉施策全般の指針を、また「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」につきましては、3年間の短期計画で、障がい福祉サービスや障がい児通所支援等の目標を定めております。

本日は、平成30年度の実績をご報告申し上げまして、来年度に予定しております、次期「障がい福祉計画・障がい児福祉計画」の策定につきまして、説明をさせていただくこととなります。委員の皆様方におかれましては、幅広い見地から忌憚のない、ご意見、ご提言を賜りますように心からお願ひを申し上げたいと思ひます。

結びにあたりまして、委員皆様の今後ますますのご健勝をご祈念申し上げますとともに、本協議会へのご協力を心よりお願ひを申し上げまして、簡単でございますけれども、ご挨拶に代えさせていただきますと思ひます。

どうぞよろしくお願ひします。

《配布資料の確認》

《委員及び事務局紹介》

《協議会成立要件の報告》

《会長・副会長の選出》

事務局 会長及び副会長の選出をお願ひしたいと思ひますが、いかがいたしましょうか。

委 員 （「司会者一任」との声あり。）

事務局 「司会者一任」との声がありましたが、司会者の方で選任させていただいてよろしいでしょうか。

委 員 （「異議なし」との声あり。）

事務局 ありがとうございます。それでは、前回に引き続きまして、会長には、四天王寺福祉事業団四天王寺和らぎ苑事務局長の的場政一委員に、副会長には、富田林市社会福祉協議会会長の端山弘明委員にお願いしたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

委 員 （承認の拍手あり。）

事務局 ありがとうございます。それでは、会長には的場委員、副会長には端山委員にお願いいたします。
的場委員、端山委員、会長・副会長席に移動をお願いいたします。

※的場委員、端山委員が会長・副会長席に移動。

事務局 それでは的場会長、ご就任にあたりまして一言ごあいさつをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

会 長 ご指名をいただきまして、会長を務めさせていただくことになりました。的場でございます。どうぞよろしく申し上げます。

障がいのある方の困りごと等というのは本当に千差万別でございまして、今日も事務局の方から、実績の報告をしていただくとありますが、本当に支援事業も幅広く数多くございまして、お困りごとが多いといったところの一つの証かなというふうに思っているのですが、先日、私の施設に聴覚障がいをお持ちの方がお見えになりまして、その方の横にですね、手話通訳の方が一緒にお見えになりました。市の事業を通じてお見えになられたというふうにお聞きしました。私の目を通して、おふたりを見させていただくと、本当に手話通訳の方がその方に寄り添って、その方も手話通訳の方に対して非常に信頼されて、安心してやりとりされていると私の目に映りました。その方にとっては手話通訳のような市の事業、生活される上で本当になくてはならない市の事業の一つになっているなど、実感を行いました。その方に限らず、生活する上で、お困りごとを支援するために欠かせない市の事業というのは、本当にその方、それぞれであるというふうに思います。そういったことをこの場で委員皆さんと一緒に協議させていただく場ということでございますので、私自身も引き続き、微力ではございますが、一生懸命務めさせていただきたいというふうに思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

《議事》

議長 それでは、規則に基づきまして、議事を進めさせていただきます。皆様のご協力よろしく
お願いいたします。

まず、案件1の「平成30年度 富田林市障がい者計画 実績報告について」、事務局から説明を
お願いいたします。

事務局 案件1、平成30年度 富田林市障がい者計画実績報告について説明。

議長 ありがとうございます。ただ今、案件1の平成30年度 富田林市障がい者計画実績報告に
ついて、事務局より説明がありましたが、皆さんからご意見・ご質問いかがでしょうか。

委員A 11ページの49番、障がい者虐待防止センターの設置、通報相談件数についてということで、
協議会の方でも毎回、この通報の内容といますかね、中身について、少し答えていただけ
る範囲で、個人情報の観点もあるのでなかなか難しいかとは思いますが、話せる範囲で詳細
がわかりましたら、どんなご相談があったか教えていただけないでしょうか。

事務局 ご存知のように平成24年10月に障害者虐待防止法が施行されまして、障がい福祉課内に障
がい者虐待防止センターを設置しております。養護者や施設従事者、あるいは使用者からの
虐待に対する相談、対応を行っております。

近年、警察からの通報が増加しているのですが、通報のあった18件のうち、警察からの通
報が11件、あと施設従事者からが3件、障がい者本人からが2件、関係機関からは2件の
通報がありました。

このうち、虐待認定をしたケース、いずれも通報が入りますと、虐待の事実確認を職員の方
で行っているのですが、最終的に虐待の事実があった、つまり虐待認定をしたケース
は、2件ございました。このケースにつきましては、養護されておられる方が疲弊されて、
そこから虐待に移行したというケースで緊急度が高いと判断いたしまして、今現在も分離を
行っております。

それ以外のケースでも、やはり障がいをお持ちの方を養護されておられるご家族さん、非常
に疲弊されておられます。その疲弊から虐待に移行したり、あるいはその一歩手前といいま
すか、ちょっときつい口調をされたりというようなことがあるのですけれども、そうならな
いように、ご本人への支援はさることながら、養護されておられるご家族へのレスパイト支
援であったりとか、精神的な支援であったりとか、あと関係機関と連携をしながらですね、
見守り支援をさせていただいたり、今現在も再発防止に努めているところです。

委員A ありがとうございます。

18件中、2件が虐待だということで認定されたということですが、それ以外のケースも、ご

相談されたことをきっかけに、いろいろな関係機関が介入といいますか、支援するようなきっかけにもなれば、その時の関わりだけではなく、その後も繋がりますし、必要なサービスとか必要な支援が届く状況にもなるのかなあというふうに思いますと、もっともつとこの件数が増える状況が、変な言い方ですが長い目で見ると、いい状況になるのかなというふうに思っています、毎回、この件数を非常に注目しているのですけれども、ポスターも関係機関に配布していただいております、私どもの事業所でも掲示していますけれども、そういう広報活動も今後あわせて、富田林市のお力を借りて進めていただけたらなというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員B 子ども食堂について、市内に何ヶ所か運営されているのですけれども、実際、障がい児が参加されているかどうか把握されているかということと、その中でいろいろな問題が起こりうるので、それを把握されて注目しておかなければならないかなと思いますので、その辺りも把握されているのかどうか。

事務局 障がい者の子どもの部分については把握できていないのですけれども、確認しておきます。

議長 はい。それではよろしく願いしておきます。

委員C ナンバー93番ですが、福祉避難所の指定ということで、現在、富田林市では「けあばる」が福祉避難所として指定されていますね。昨今、いろいろな災害でこういった場所が必要であると謳われていますけれども、実際、「けあばる」では何人ぐらいの方が受入れられるのか、その数は富田林市の弱者といいますか、そういった方々の数からすると十分な数なのか。もし不足しているのであれば、今後、福祉避難所の計画がどのようになっているのか、分かれば教えていただきたいと思います。

事務局 まず、「けあばる」の受け入れ定員でございますけれども、定員というのにはございません。避難される方の状況とかを見て、可能な限り受け入れるものと考えております。また他の施設ということもございますけれども、今、福社会館を大規模な修繕を行っているところでございまして、それが完成しましたら、福祉避難所の指定に向けて進んでいくというふうに担当課からは聞いているところでございます。

委員B その件で、社会福祉協議会、私設の福祉施設連絡会というのがありまして、その中でいろいろな老人・障がい・児童・幼児の施設の関係で、施設連絡会等と富田林市で協定を結び、各施設に対して、危機管理室が直接出向いて、どういう形でどういう人数でできるかという形を進めているのですけど、残念ながら、まだ今のところ1ヶ所だけと締結しており、他は引き続き、危機管理室が精力的に回っているという話になっております。どこがどのような形で進んでいるというところが、まだできておりませんので、またできましたらその辺の資料提供をしていただければなというふうに思っております。

委員A 富田林市内の各福祉事業所施設のバックボーンといいますか得意なところを活かしながら災害時にどんな役割を担えるかというふうなところは、社会福祉法人の担うべき役割の一つでもあると思いますし、市と社協さんとコラボしながら、いざという時の備えに進めていけたらなと福祉施設の担当として、私自身も命題というふうに思っており、今後取り組んでいきたいと思います。

委員D 子ども食堂は富田林市内に何ヶ所で、拠点はどこにありますか。

事務局 拠点は市内で6ヶ所展開されているというふうに聞いております。詳細な場所までは把握しきれていないのですが、いろいろな子どもたちが利用されているということは聞いております。

委員D 設置場所は旧村で何ヶ所とか、金剛地区で何ヶ所とかは。

事務局 特にその地区別に何ヶ所というところまでは把握はできておりません。富田林市全体で6ヶ所というところまでしか確認は取れておりません。

議 長 お調べいただけることは可能ですよね。また回答いただくということで、今ちょっと詳細わからないということなので、よろしいでしょうか。

委員B 子ども食堂の件ですが、市内で6ヶ所やられており、各それぞれの、例えば人権センターとかあるいは個人的な形で、発起人がやっておられるわけですが、その中で、食料、食材の提供という形で、社会福祉協議会と、農協JAの「あすかて」というところでね、売れ残った分を社協がもらってきて、子ども食堂をやっておられるところに月1回配っているとか、そういう事業も進めておることも、ちょっと報告しておきたいなというふうに思います。

議 長 それではご質問ほかにないようでしたら、次の案件に入らせていただきます。

案件2の「平成30年度 富田林市障がい福祉計画・障がい児福祉計画 実績報告について」事務局から説明をお願いします。

事務局 案件2、平成30年度 富田林市障がい福祉計画・障がい児福祉計画 実績報告について説明。

議 長 ありがとうございます。只今、案件2の平成30年度富田林障がい福祉計画・障がい児福祉計画実績報告について、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問ございませんでしょうか。

委員A 9ページ、計画相談支援等に関連して、これも毎回ちょっと気になってるものですからご質

聞かせていただいているのですけれども、計画相談支援員がというご説明をしていただきましたけど、相談支援専門員が専門性にのっかって、その方のサービスプランを作る、デイサービスの調整をするということで、今、富田林市内に対象の方がどれくらいいらっしゃるって、どのぐらいの割合で、相談支援専門員が関わってプラン作成しているかというところを教えてくださいませんか。

事務局 平成 30 年度につきましては、全体のサービス受給者数が 974 名中、計画相談利用者が 507 名、割合で申しますと 52.1%となっております。ちなみに 29 年度で申しますと全体で 929 名、そのうち、488 名、52.5%となっております。利用者数自体は増えているのですけれども、サービス利用者数全体が多くなっているもので、パーセンテージとしては、こちらも低くは出ております。ただ利用者数自体は増えております。

委員 A ありがとうございます。割合的には少し下がっているのは、少し残念なところではありますね。数的には増えているということで、これはもう事業所ありきの話でもありますし、またその辺りは我々の宿題でもあるのかもしれませんが、引き続き必要な方に必要なものが届くように、相談支援専門員の代わりというとあれなんですけれども、役所の方でもサポートのほどよろしく願いしておきます。

議長 それではご質問ないようですので次の案件に入らせていただきます。
それでは案件 3 の「次期富田林市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 案件 3、次期富田林市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定について説明。

議長 ありがとうございます。
案件 3 のご説明をいただきましたが、ご質問いかがでしょうか。

委員 A 前回のアンケートの回収率どのくらいでしたか。

事務局 配布数が 1500 通に対しまして回答数が 906、パーセンテージは 60.4%となっております。

委員 A 6 割。なるほど。やはり 100%目指すべきところなのですが、6 割というアンケートは一般的に高い回収率なのかなと印象を受けますが、回収率を上げるための努力というか工夫みたいなものを、前回、何かされたのですか。それから、今回こんなことでやってみようというふうな何かがございますか。

事務局 ちょっと一部想像にもなるのですが、そもそも対象者を限定させていただいたものと、前回は障がい者計画の部分もあったので、それはちょっと除いて考えたいのですけれども、障が

い福祉計画につきましては対象がサービス利用者であったり、障がい者手帳所持者を対象としておりますことから、そもそもダイレクトに自分に関わることであったのかなということが一つと。あとはもう一般的なことかもしれませんけれども、提出の勸奨等もさせていただきましたので、それも一定効果があったのかなというふうには考えております。今回につきましては、前回よりも回答をしやすくしてさらに回収率を高めたいなというふうに考えております。

議 長 どうでしょうか。ご要望といいますか、何か実際に回答する上で、こうすればもっと書きやすいのになあとかいうふうなところございますか。

委員B 予算もあることだと思いますが、障がい者以外の一般の方が、どういう意識を持っているかというような意識調査も、別にしてはどうかなというふうに思うのですけれども、その辺の考え方はありませんか。

事務局 今回の障がい福祉計画が、サービス利用の意向を確認させていただくというところの趣旨もございますので、サービス利用量に関わる部分についてアンケートを取らせていただきたいということで。前は障がい者計画という、障がい施策全般についての計画も含まれておりましたので、一般の方についてもアンケートを取らせていただいておりますが、今回についてはサービス利用量に特化した部分でさせていただこうというふうに考えております。

委員C アンケート問2のところ、年齢の幅なのですけれども、0歳から17歳っていうと、かなり小さな子どもさんから、就職や自立を目前にした高等部の方まで幅が広い。また18歳から39歳での障がいのお持ちの方々の年齢で考えれば、かなり元気な時とちょっとしんどくなってきそうな年齢になってきているのですけれども、この年齢区分の分け方で何か意図はありますか。もうちょっと細かく分けてもいいのかなと思う。そうすると、小さい子どもさんのお家の方が次に何を使いたいとか、卒業間際の方がどう考えてるのかということが見えてくるのではないかなと思う。

事務局 この部分につきましては前回の調査をスライドしている部分がございますので、今のご意見を受けて検討していきたいと思えます。

議 長 ありがとうございます。本当にご指摘の通りだなというふうに思いますので、ぜひ検討いただくようよろしくお願いいたします。

他にいかがでしょうか。

スケジュールの方も、ご説明ありましたが、その点もよろしいでしょうか。

それではご意見ないようですので、年齢区分のところの貴重な意見がありましたので、ご検討いただくようよろしくお願いいたします。それとやはり回収率が高ければ高いほど価値のある

根拠のあるものになると思いますので、その辺の努力・工夫もよろしく願いいたします。

それでは次第に戻りまして、一応準備されている議案は以上でございます。

その他ということで、何か委員の皆さんからご意見ということがございましたら、ご発言をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

事務局 障がい者計画実績報告の時に、子ども食堂の件でちょっとお尋ねがございまして、また調べましてということで、今、設置場所6ヶ所の場所につきまして、わかりましたのでご報告の方をさせていただきます。

1ヶ所目が若松町、2ヶ所目が須賀、3ヶ所目が宮町、4ヶ所目が本町、5ヶ所目が常盤町、6ヶ所目が小金台の地区で、今、子ども食堂をやっておられるということでございます。ですから割と旧村の方でやっておられる。金剛の方が1ヶ所、小金台というふうな形になっております。

議長 ありがとうございます。

他よろしいでしょうか。ないようでございますので、本日の予定の案件はすべて終了いたしました。進行ご協力ありがとうございました。進行を事務局の方にお返しいたします。

《閉会》

事務局 西野子育て福祉部長より閉会のあいさつ。

ありがとうございます。